

FreshTalk

～ フレッシュトーク ～



雄武小学校 養護教諭

角田 詩織 さん (日の出仲町)

「子どもが好きで、看護・教育に興味があったことが養護教諭を目指すきっかけになりました」と話す角田さん。母親も養護教諭をしており、幼少の頃から母親の職場を目にする機会が多い環境にあったこともまた要因のようでした。

猿払村出身の角田さんは、中学校までを同村で過ごし、旭川市の高校へ、大学は江別市にある学校を卒業後、昨年4月から雄武小学校に養護教諭として赴任しました。

主な仕事は、子どもの救急処置や相談、保健教育(体に関すること)の授業を担っています。また、休み時間には保健室に子どもたちが集まり、角田さんと話しをしたり、本を読んだり憩いの場としても活用されるそうです。

「授業のコマ数の少ない保健教育は、限られた時間で伝える

ければならないので、子どもが興味を持つような授業を目指しています。そう思う中で、授業を行ったときに「自分の体を大切にしようと思えました」など子どもから感想があったときは、「養護教諭としてやりがいを感じます」と笑顔で話します。

「職場では、周りの人が良くしてくださるので本当に助かっています。保健だよりを作成するときは、養護教諭の先輩でもある母から、言葉の使い直しなど、いろいろなアドバイスをもらっています」とたくさんの人に支えられている様子も教えてくれました。

休日の過ごし方を聞くと、「家にいるときは、家事をしたり、読書をします。職業病かもしれないですが、健康に関する本ばかり読んでいます」と苦笑い。

公私ともに「養護の先生」である角田さんは、子どもたちを守ってくれるとても心強い存在でした。

雄武町民憲章 (町民の誓い)

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくりま。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくりま。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくりま。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくりま。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和46年3月19日制定

▼暖かい日が続き、雪山の背も少しずつ低くなるのを見て、冬が過ぎ去っていくのを感じました。そんなふう景色を眺めて歩いていると雪溶け水が氷った道で転んでしまいました。暖かくなり皆さんも出掛ける機会が多くなるとは思いますが、氷った道にはくれぐれもお気をつけください。(大辻)

◆編集後記

Editor's note

▼図書館での箏弾き語り会では、目の前で箏と尺八の演奏を聴くことができました。普段は見ることができない指の動きや息づかい、何よりもマイクを通さず聴こえる生の音は圧巻でした。刻まれる一拍の音がいつもとは違って聴こえる、贅沢な体験をさせていただき感謝です。(内宮)